

1

# 小学校の復習(1)

◆指導ページ P.2～7◆

【指導のねらい】

- ★整数、小数の計算をしながら、計算のきまりを確認をする。
- ★比や割合、場合の数について確認する。
- ★図形の合同や角度、面積について確認する。

| はじめに  | 学習内容・補足事項など   |
|---|---|
| <p>&lt;事前確認&gt;</p> <p><b>1 整数の計算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の順序</li> <li>①( )の中</li> <li>②かけ算・わり算</li> <li>③たし算・ひき算</li> </ul> <p><b>2 小数の計算(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小数のかけ算…小数点がないものとして計算してから小数点をつける。</li> <li>・小数のわり算…わる数を整数になおして計算してから小数点をつける。</li> </ul> <p><b>3 小数の計算(2)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりの小数点…わられる数のもとの小数点と同じ位置。</li> </ul> <p><b>4 計算のきまり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>(□+○)+△=□+(○+△)</math></li> <li>・<math>(□×○)×△=□×(○×△)</math></li> <li>・<math>(□+○)×△=□×△+○×△</math></li> <li>・<math>(□-○)×△=□×△-○×△</math></li> </ul> <p><b>5 数の大小</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分数を小数になおして大小を比べる。</li> </ul> <p><b>6 等しい比</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比の両方の数に同じ数をかけたり、両方の数を同じ数でわったりしてできる比は、もとの比に等しい。</li> </ul> <p><b>7 割合(1)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・百分率…<math>0.01 = 1\%</math></li> <li>・歩合…<math>0.1 = 1割</math>, <math>0.01 = 1分</math>, <math>0.001 = 1厘</math></li> </ul> <p><b>8 割合(2)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割合 = 比べる量 ÷ もとにする量</li> <li>・比べる量 = もとにする量 × 割合</li> <li>・もとにする量 = 比べる量 ÷ 割合</li> </ul> <p><b>9 割合の応用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○割引…定価の<math>(10 - ○)</math>割の値段</li> </ul> <p><b>10 場合の数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの組み合わせ、並べ方を書き出していく。</li> </ul> <p><b>11 割合のグラフ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円グラフ…全体を円で表したグラフ</li> <li>・帯グラフ…全体を長方形で表したグラフ</li> </ul> <p><b>12 平行と角</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平行な直線は、他の直線と等しい角度で交わる。</li> </ul> <p><b>13 三角形・四角形の角</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の3つの角の和 = <math>180^\circ</math></li> <li>・四角形の4つの角の和 = <math>360^\circ</math></li> </ul> <p><b>14 合同</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同な図形…対応する辺の長さや角の大きさが等しい。</li> </ul> <p><b>15 三角形・四角形の面積</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の面積 = 底辺 × 高さ ÷ 2</li> <li>・平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ</li> <li>・台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2</li> <li>・ひし形の面積 = 対角線 × 対角線 ÷ 2</li> </ul> <p><b>16 円周の長さや円の面積</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円周 = 直径 × 円周率</li> <li>(半径 × 2 × 円周率)</li> <li>・円の面積 = 半径 × 半径 × 円周率</li> </ul> <p><b>17 面積の応用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かげをつけた部分の面積 = 図形全体の面積 - 白い部分の面積</li> </ul> | <p><b>4 計算のきまり ⇒仕上げ2</b></p> <p>▷ くふうして、計算をしなさい。</p> <p>(1) <math>163 + 42 + 58</math> <math>\xrightarrow{\hspace{1cm}}</math> <math>163 + (42 + 58)</math> ← 一の位が0となる組み合わせを先に計算する</p> <p><math>= 163 + 100</math></p> <p><math>= 263</math></p> <p>(2) <math>75 \times 9 - 75 \times 8</math> <math>\xrightarrow{\hspace{1cm}}</math> <math>75 \times (9 - 8)</math> ← <math>\triangle \times \square - \triangle \times \bigcirc = \triangle \times (\square - \bigcirc)</math></p> <p><math>= 75 \times 1 = 75</math></p> <hr/> <p><b>9 割合の応用 ⇒仕上げ3</b></p> <p>▷ 定価3500円のセーターを、1割引で売っている。セーターの売り値を求めよ。</p> <p>1割 → 0.1    <math>1 - 0.1 = 0.9</math>(倍)    <math>3500 \times 0.9 = 3150</math>(円)</p> <p>▷ 160gの濃縮ジュースを、2.5倍の重さの水でうすめると、全体のジュースの重さは何gになるか。</p> <p>水が濃縮ジュースの2.5倍の重さなので、全体は濃縮ジュースの<math>(1 + 2.5)</math>倍の重さになる。</p> <p><math>1 + 2.5 = 3.5</math>(倍)    <math>160 \times 3.5 = 560</math>(g)</p> <hr/> <p><b>10 場合の数 ⇒仕上げ3</b></p> <p>▷ A, B, C, D, Eの5人の中から2人の学級委員を選ぶ。学級委員になる2人の組み合わせは、全部で何通りあるか。</p> <p>すべての組み合わせをかき出すと、次のようになる。</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p>同じ組み合わせになっているものは×にする。</p> <p>よって、全部で10通り</p> <hr/> <p><b>17 面積の応用 ⇒仕上げ7</b></p> <p>▷ 次の図形のかげをつけた部分の面積を求めなさい。ただし、円周率は3.14とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>大きい三角形 - 小さい三角形</p> <math>= 8 \times (6 + 4) \div 2 - 8 \times 4 \div 2</math> <math>= 8 \times (6 + 4 - 4) \div 2</math> <math>= 8 \times 6 \div 2 = 24(\text{cm}^2)</math> </div> <div style="text-align: center;"> <p>かげをつけた部分を1か所に集めて、縦10 cm、横12 cmの長方形と考える。</p> <math>10 \times 12 = 120(\text{cm}^2)</math> </div> </div> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>大きい円 - 小さい円</p> <math>= 5 \times 5 \times 3.14 - 4 \times 4 \times 3.14</math> <math>= (25 - 16) \times 3.14</math> <math>= 9 \times 3.14 = 28.26(\text{cm}^2)</math> </div> <div style="text-align: center;"> <p>正方形 - 円の<math>\frac{1}{4}</math></p> <math>= 20 \times 20 - 20 \times 20 \times 3.14 \times \frac{1}{4}</math> <math>= 400 - 314 = 86(\text{cm}^2)</math> </div> </div> |

【指導のねらい】

- ★倍数と約数の意味や求め方、分数の計算方法を確認する。
- ★平均の求め方や単位量、速さの求め方や比例・反比例について理解する。
- ★対称な図形や図形の拡大と縮小、立体の名称や特徴、体積の求め方について確認する。

| はじめに  | 学習内容・補足事項など  |
|---|--|
| <p>&lt;事前確認&gt;</p> <p><b>1 倍数と約数</b><br/>                     ・倍数…ある数に0以外の整数をかけてできる数を、ある数の倍数という。<br/>                     ・約数…ある数をわり切ることのできる整数を、ある数の約数という。</p> <p><b>2 最小公倍数</b><br/>                     ・公倍数のうち、いちばん小さい数。</p> <p><b>3 最大公約数</b><br/>                     ・公約数のうち、いちばん大きい数。</p> <p><b>4 約分</b><br/>                     ・分母と分子の最大公約数でわって約分する。</p> <p><b>5 通分</b><br/>                     ・それぞれの分母の最小公倍数を分母にして、通分する。</p> <p><b>6 分数のたし算・ひき算</b><br/>                     ・通分して、分子どうしの計算をする。</p> <p><b>7 分数のかけ算・わり算</b><br/> <math>\frac{\bigcirc}{\triangle} \times \frac{\diamond}{\square} = \frac{\bigcirc \times \diamond}{\triangle \times \square}</math><br/> <math>\frac{\bigcirc}{\triangle} \div \frac{\diamond}{\square} = \frac{\bigcirc \times \square}{\triangle \times \diamond}</math></p> <p><b>8 平均</b><br/>                     ・平均 = 合計 ÷ 個数</p> <p><b>9 単位量あたりの大きさ</b><br/>                     ・人口密度 = 人口 ÷ 面積(km<sup>2</sup>)</p> <p><b>10 速さ</b><br/>                     ・速さ = 道のり ÷ 時間<br/>                     ・道のり = 速さ × 時間<br/>                     ・時間 = 道のり ÷ 速さ</p> <p><b>11 比例・反比例</b><br/>                     ・比例…1つの量が2倍、3倍、…になると、もう1つの量も2倍、3倍、…となる。<br/>                     ・反比例…1つの量が2倍、3倍、…になると、もう1つの量が<math>\frac{1}{2}</math>倍、<math>\frac{1}{3}</math>倍、…となる。</p> <p><b>12 比例のグラフ</b><br/>                     ・比例する関係を表すグラフは直線で、0の点を通る。</p> <p><b>13 対称な図形</b><br/>                     ・線対称…1本の直線を折り目として折り返すと、ぴったり重なる図形。<br/>                     ・点対称…1点を中心として180°回転させたときにぴったり重なる図形。</p> <p><b>14 図形の拡大と縮小</b><br/>                     ・拡大図…対応する辺の長さをどれも同じ割合で拡大した図。<br/>                     ・縮図…対応する辺の長さをどれも同じ割合で縮小した図。</p> <p><b>15 直方体と立方体</b><br/>                     ・向かい合っている面と面、面と辺、辺と辺は平行。<br/>                     ・接している面と面、接している辺と辺、1点で接する面と辺は垂直。</p> <p><b>16 最小公倍数</b><br/>                     ・角柱は、底面の形によって名前が決まる。</p> <p><b>17 体積</b><br/>                     ・立方体の体積 = 1辺 × 1辺 × 1辺<br/>                     ・直方体の体積 = 縦 × 横 × 高さ<br/>                     ・角柱、円柱の体積 = 底面積 × 高さ</p> <p><b>18 容積</b><br/>                     ・1 L = 1000 cm<sup>3</sup>    1 mL = 1 cm<sup>3</sup></p> | <p><b>1 倍数と約数 ⇒仕上げ1</b><br/>                     ▷ 18の約数をすべて答えよ。<br/>                     18をわり切ることのできる整数を、18の約数という。<br/>                     よって、1, 2, 3, 6, 9, 18の6個</p> <p><b>8 平均 ⇒仕上げ3</b><br/>                     ▷ たくやさんのテストの点数は、国語が90点、算数が76点、理科が85点、社会が63点であった。たくやさんの4教科のテストの平均は何点か。<br/> <math>90 + 76 + 85 + 63 = 314(\text{点}) \cdots \text{合計}</math><br/> <math>314 \div 4 = 78.5(\text{点}) \cdots \text{平均}</math><br/>                     ▷ あや子さんの家から公園まで、歩いて740歩あった。あや子さんの平均の歩幅が65cmであるとすると、家から公園までの道のりは約何mか。<br/>                     およその道のりは、歩幅 × 歩数で求めることができる。<br/> <math>65 \text{ cm} = 0.65 \text{ m} \quad 0.65 \times 740 = 481(\text{m})</math></p> <p><b>10 速さ ⇒仕上げ4</b><br/>                     ▷ 分速60mで15分間歩いたときに進む道のりを求めよ。<br/> <math>60 \times 15 = 900(\text{m})</math><br/>                     ▷ 72kmの道のりを、時速24kmで走る車で進んだときにかかる時間を求めよ。<br/> <math>72 \div 24 = 3(\text{時間})</math><br/>                     ▷ 2.4kmの道のりを30分で歩きたい。時速何kmで歩けばよいか。<br/> <math>2.4 \div \frac{30}{60} = 4.8(\text{km})</math></p> <p><b>12 比例のグラフ ⇒仕上げ4</b><br/>                     ▷ 右のグラフは、水そうに水を入れたときの、入れた時間と水の量の関係を表したものである。これについて、次の問いに答えなさい。<br/>                     (1) 水を入れた時間をx分、水の量をyLとして、yをxの式で表せ。<br/>                     グラフより、2分間に3Lの水が入るので、1分間に水の入る量は、<math>3 \div 2 = 1.5(\text{L})</math><br/>                     よって、<math>y = 1.5 \times x</math><br/>                     (2) 水そうに水を18L入れるには、水を何分間入れればよいか。<br/>                     (1)の式のyに18をあてはめると、<math>18 = 1.5 \times x</math><br/>                     よって、<math>x = 18 \div 1.5 = 12(\text{分間})</math></p> <div style="text-align: right;"> </div> <p><b>17 体積 ⇒仕上げ6</b><br/>                     ▷ 次の立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は3.14とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <p>2つの直方体に分けて考える。<br/> <math>8 \times 3 \times 6 = 144(\text{cm}^3)</math><br/> <math>6 \times (12 - 3) \times 6 = 324(\text{cm}^3)</math><br/> <math>144 + 324 = 468(\text{cm}^3)</math></p> <p>円の面積 = 半径 × 半径 × 円周率<br/> <math>3 \times 3 \times 3.14 = 28.26(\text{cm}^2) \cdots \text{底面積}</math><br/>                     円柱の体積 = 底面積 × 高さ<br/> <math>28.26 \times 3 = 84.78(\text{cm}^3)</math></p> |

【指導のねらい】

- ★正の数と負の数について、その大小やその表し方、絶対値の意味を理解する。
- ★正負の数の加法と減法について、その計算方法を学ぶ。
- ★正負の数の乗法と除法について、その計算方法を学ぶ。

| はじめに   | 学習内容・補足事項など   |
|--|---|
| <p>&lt;導入&gt;</p> <p>小学校では0以上の数を学習してきたが、中学校からは0より小さい数も学習する。</p> <p>導入としては、気温や増減など、日常生活では様々な負の数を目にする機会があるので、それらを例に考えさせると生徒もイメージしやすい。</p> <p>計算問題では、加法と減法、及び乗法と除法を扱う。まずは小学校で学習したたし算のやり方を正の数・負の数の加法につなげてから減法や乗法、除法へと展開していきたい。特に、負の数の乗除は、符号の変換で生徒が混乱しやすい内容のため、数直線を利用して説明するなどして理解を深めさせたい。</p> <p>計算問題を多くこなすことで、負の数の扱いに慣れさせたいが、慣れるまでは計算ミスを防ぐためにも、途中式を丁寧に書かせるように指導したい。</p> <p>&lt;事前確認&gt;</p> <p><b>例題 1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正の数…0より大きい数。+をつける。符号+は省くこともある。</li> <li>・負の数…0より小さい数。-をつける。符号-は省くことはできない。</li> </ul> <p><b>例題 2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対値…数直線上の0からその数までの距離。正負の数からそれぞれの数の符号を取り去ったもの。</li> <li>・数の大小と数直線…正の数は、その絶対値が大きいほど大きく、負の数は、その絶対値が大きいほど小さい。</li> <li>・不等号…数の大小は、不等号&gt;, &lt;を使って表すことができる。(3つ以上の数の大小は、不等号の向きをそろえる。)</li> </ul> <p><b>例題 3</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同符号の2数の和…2数の絶対値の和に、共通の符号をつける。</li> <li>・異符号の2数の和…2数の絶対値の差に、絶対値の大きい方の符号をつける。</li> </ul> <p><b>例題 4</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>(+○) - (+□) = (+○) + (-□)</math></li> <li>・<math>(+○) - (-□) = (+○) + (+□)</math></li> </ul> <p><b>例題 5</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>(+) \times (+) = (+)</math>, <math>(-) \times (-) = (+)</math></li> <li>・<math>(+) \times (-) = (-)</math>, <math>(-) \times (+) = (-)</math></li> <li>・0との積は0である。</li> </ul> <p><b>例題 6</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>(+) \div (+) = (+)</math>, <math>(-) \div (-) = (+)</math></li> <li>・<math>(+) \div (-) = (-)</math>, <math>(-) \div (+) = (-)</math></li> </ul> | <p><b>例題 1 正の数・負の数 (暗記) ⇒仕上げ 1, 2</b></p> <p>▷ 次の数を、正の符号、負の符号をつけて表せ。</p> <p>① 0より2大きい数<br/>0より大きい数には、「+」をつけるので、+2</p> <p>② 0より7小さい数<br/>0より小さい数には、「-」をつけるので、-7</p> <p><b>例題 2 数の大小、絶対値 (理解) ⇒仕上げ 3, 4</b></p> <p>▷ 次の各組の数の大小を、不等号を使って表せ。</p> <p>① +3, -10<br/>(正の数)&gt;(負の数)なので、+3&gt;-10</p> <p>② -5, -8<br/>負の数は、絶対値が大きいほど小さいので、5&lt;8より、-5&gt;-8</p> <p><b>例題 3 正負の数の加法 (理解) ⇒仕上げ 5</b></p> <p>▷ 次の計算をなさい。</p> <p>(1) <math>(+3) + (+2) = + (3 + 2) = +5</math> 同符号の和→2数の絶対値の和に共通の符号「+」をつける</p> <p>(4) <math>(+1) + (-5) = - (5 - 1) = -4</math> 異符号の和→2数の絶対値の差に絶対値の大きい方の符号「-」をつける</p> <p><b>例題 4 正負の数の減法 (理解) ⇒仕上げ 6</b></p> <p>▷ 次の計算をなさい。</p> <p>(1) <math>(+4) - (+6) = (+4) + (-6) = - (6 - 4) = -2</math> 加法になおす→<math>-(+○) = +(-○)</math><br/>異符号の和</p> <p>(4) <math>(+6) - (-2) = (+6) + (+2) = + (6 + 2) = +8</math> 加法になおす→<math>-(-○) = +(○)</math><br/>同符号の和</p> <p><b>例題 5 正負の数の乗法 (理解) ⇒仕上げ 7</b></p> <p>▷ 次の計算をなさい。</p> <p>(1) <math>(+2) \times (+4) = + (2 \times 4) = +8</math> 同符号の2数の積→絶対値の積に「+」の符号をつける</p> <p>(4) <math>(-5) \times (+2) = - (5 \times 2) = -10</math> 異符号の2数の積→絶対値の積に「-」の符号をつける</p> <p>(5) <math>(-10) \times 0 = 0</math> 0との積は0</p> <p><b>例題 6 正負の数の除法 (理解) ⇒仕上げ 8</b></p> <p>▷ 次の計算をなさい。</p> <p>(1) <math>(+15) \div (+5) = + (15 \div 5) = +3</math> 同符号の2数の商→絶対値の商に「+」の符号をつける</p> <p>(4) <math>(-24) \div (+6) = - (24 \div 6) = -4</math> 異符号の2数の商→絶対値の商に「-」の符号をつける</p> |



4

# 正負の数(2)

【指導のねらい】

- ★加法・減法の混じった計算の方法を理解する。
- ★3つ以上の数の乗法や乗法・除法の混じった計算の方法を理解する。
- ★累乗の計算や四則混合計算の方法を理解する。

| はじめに   | 学習内容・補足事項など  |
|--|--|
| <p><b>&lt;導入&gt;</b><br/>                     加法と減法の混じった計算では、減法をすべて加法になおしてから計算する。また、かっこがある式では、かっこのない式になおしてから計算する。<br/>                     乗法と除法の混じった計算では、除法を逆数の乗法になおし、乗法のみで式になおしてから計算すると楽であることを指導していきたい。<br/>                     累乗の考え方は中学校で初めて学習するので、計算方法から表し方まで十分に理解させたい。<br/>                     四則混合計算は、正負の数の計算のまとめとなる。今まで学習した計算方法を一から復習し、身につけているかを確認しながら、演習に取り組みたい。</p> <p><b>&lt;事前確認&gt;</b></p> <p><b>例題 1</b><br/>                     ・加法の交換法則<br/> <math>\square + \bigcirc = \bigcirc + \square</math><br/>                     ・加法の結合法則<br/> <math>(\square + \bigcirc) + \triangle = \square + (\bigcirc + \triangle)</math></p> <p><b>例題 2</b><br/>                     ・負の数が偶数個→積の符号は「+」<br/>                     ・負の数が奇数個→積の符号は「-」<br/>                     ・乗法の交換法則<br/> <math>\bigcirc \times \square = \square \times \bigcirc</math><br/>                     ・乗法の結合法則<br/> <math>(\bigcirc \times \square) \times \triangle = \bigcirc \times (\square \times \triangle)</math></p> <p><b>例題 3</b><br/>                     ・逆数…2つの数の積が1になるとき、一方の数を、他方の数の逆数という。0の逆数はない。<br/>                     ・除法を乗法になおす…除法は、わる数の逆数をかけることによって、乗法になおせる。</p> <p><b>例題 4</b><br/>                     ・累乗…同じ数をかけ合わせたもの。<br/>                     ・指数…累乗で、右上に小さく書いた数。かけた数の個数を表す。<br/> <math>(-\triangle)^2 = (-\triangle) \times (-\triangle)</math><br/> <math>-\triangle^2 = -(\triangle \times \triangle)</math></p> <p><b>例題 5</b><br/>                     ・計算の順序<br/>                     ①かっこがある式では、かっこの中を先に計算する。<br/>                     ②累乗のある式では、累乗を先に計算する。<br/>                     ③加減と乗除の混じっているときは、乗除を先に計算する。<br/>                     ・分配法則<br/> <math>(\bigcirc + \square) \times \triangle = \bigcirc \times \triangle + \square \times \triangle</math><br/> <math>\triangle \times (\bigcirc + \square) = \triangle \times \bigcirc + \triangle \times \square</math></p> | <p><b>例題 1 加法・減法の混じった計算 (理解) ⇒仕上げ 1</b><br/>                     ▷ 次の計算をなさい。<br/> <math>(+4) + (-3) - (-5)</math> <input type="text"/> 減法を加法になおす。<br/> <math>= (+4) + (-3) + (+5)</math> <input type="text"/> かっこのない式になおす。<br/> <math>= 4 - 3 + 5</math> <input type="text"/> 正の数、負の数どうしをまとめる。<br/> <math>= 4 + 5 - 3</math> <input type="text"/> それぞれの和を求める。<br/> <math>= 9 - 3</math> <input type="text"/><br/> <math>= 6</math></p> <p><b>例題 2 3つ以上の数の乗法 (理解) ⇒仕上げ 2</b><br/>                     ▷ 次の計算をなさい。<br/>                     (1) <math>(-2) \times (+3) \times (-4)</math> <input type="text"/> 負の数が偶数個→「+」<br/> <math>= + (2 \times 3 \times 4)</math> <input type="text"/><br/> <math>= + 24</math><br/>                     (2) <math>(-4) \times (-5) \times (+8) \times (-2)</math> <input type="text"/> 負の数が奇数個→「-」<br/> <math>= - (4 \times 5 \times 8 \times 2)</math> <input type="text"/><br/> <math>= - 320</math></p> <p><b>例題 3 乗法・除法の混じった計算 (理解) ⇒仕上げ 3</b><br/>                     ▷ 次の計算をなさい。<br/>                     (1) <math>12 \div (-3) \times 2</math> <input type="text"/> 除法を逆数の乗法になおす。<br/> <math>= 12 \times \left(-\frac{1}{3}\right) \times 2</math> <input type="text"/> 負の数が奇数個→「-」<br/> <math>= - \left(12 \times \frac{1}{3} \times 2\right)</math> <input type="text"/><br/> <math>= - 8</math><br/>                     (2) <math>\left(-\frac{5}{6}\right) \times 2 \div \left(-\frac{2}{3}\right)</math> <input type="text"/> 除法を逆数の乗法になおす。<br/> <math>= \left(-\frac{5}{6}\right) \times 2 \times \left(-\frac{3}{2}\right)</math> <input type="text"/> 負の数が偶数個→「+」<br/> <math>= \frac{5}{6} \times 2 \times \frac{3}{2}</math> <input type="text"/><br/> <math>= + \frac{5}{2}</math></p> <p><b>例題 4 累乗の計算 (暗記) ⇒仕上げ 4</b><br/>                     ▷ 次の計算をなさい。<br/>                     (1) <math>5^2</math> <input type="text"/> 5が2回かけ算されている<br/> <math>= 5 \times 5</math> <input type="text"/><br/> <math>= 25</math><br/>                     (2) <math>(-3)^3</math> <input type="text"/> (-3)が3回かけ算されている<br/> <math>= (-3) \times (-3) \times (-3)</math> <input type="text"/><br/> <math>= - 27</math><br/>                     (3) <math>-6^2</math> <input type="text"/> 6が2回かけ算されている<br/> <math>= -(6 \times 6)</math> <input type="text"/><br/> <math>= - 36</math></p> <p><b>例題 5 四則混合計算 (理解) ⇒仕上げ 5</b><br/>                     ▷ 次の計算をなさい。<br/>                     (1) <math>8 \div (4 - 6)</math> <input type="text"/> かっこの中を計算する<br/> <math>= 8 \div (-2)</math> <input type="text"/> 乗除を計算する<br/> <math>= - 4</math> <input type="text"/><br/>                     (2) <math>12 - 2 \times (-3)^2</math> <input type="text"/> 累乗を計算する<br/> <math>= 12 - 2 \times 9</math> <input type="text"/> 乗除を計算する<br/> <math>= 12 - 18</math> <input type="text"/> 加減を計算する<br/> <math>= - 6</math> <input type="text"/></p> |